

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かじや製油株式会社

2007年3月期決算説明会

決算概要について

2007年5月25日(金)

取締役専務執行役員 水戸 優



- 1. 会社概要**
- 2. 2007年3月期決算概要**
- 3. 2008年3月期事業計画**



1. 会社概要



会社プロフィール(2007年3月31日現在)

- 所在地 本社:東京都品川区
- 創業 1858年(安政5年)
- 設立 1957年(昭和32年)5月2日
- 代表者 取締役社長 小澤 二郎
- 資本金 21億60百万円
- 株主数 3,303名
- 従業員数 266名
- 事業所 本社、工場、
4支店、5営業所、1事業所

- 事業内容 ごま業界のトップメーカー
『ごま油、食品ごま、商品、脱脂ごま』



主な取扱商品

ごま油

家庭用



業務用



食品ごま

家庭用



業務用

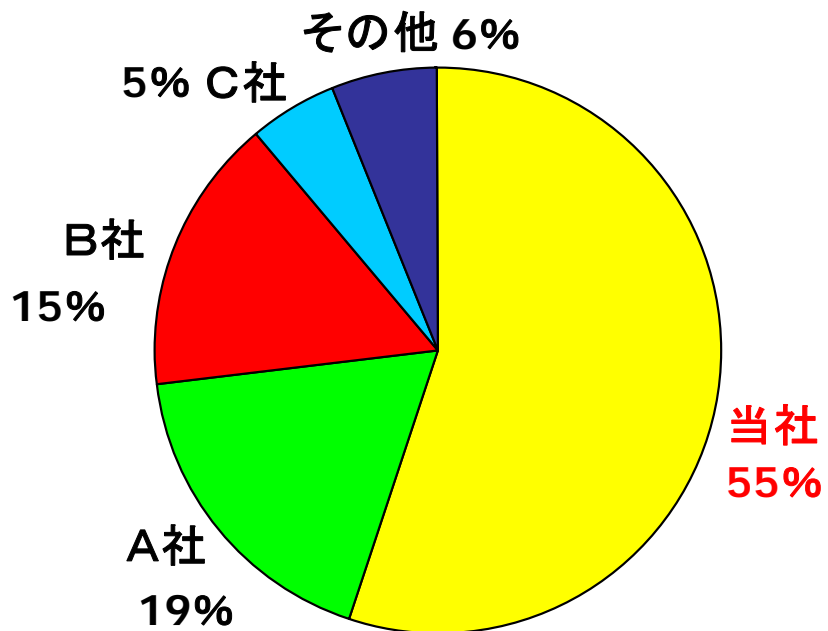




シェア状況

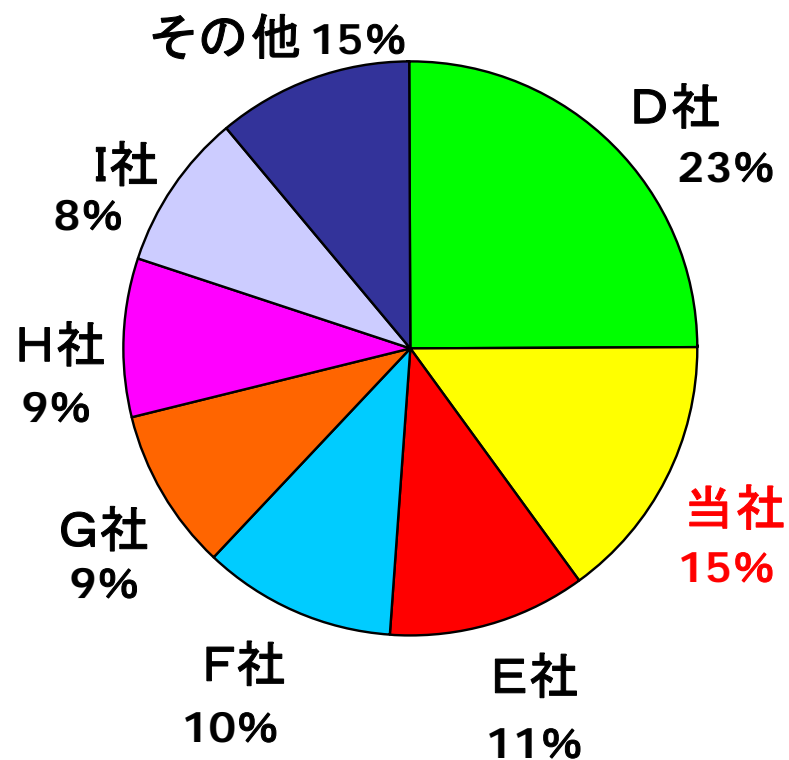
ごま油(2006年売上高)

市場規模: 約300億円



食品ごま(2006年売上高)

市場規模: 約240億円



上記数値は【株富士経済】調査による



2. 2007年3月期 決算概要



07/3月期 決算の概要

(単位：百万円)	06/3月期	07/3月期	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	18,493	18,859	366	2.0%	ごま油：輸出用・家庭用好調、 業務用やや苦戦 → 販売数量2.1%増、 食品ごま：販売数量3.0%増
売上原価	11,900	12,180	280	2.4%	原料ドルベース仕入価格3%低下 為替レート4.7%円安 燃料費他経費増
販管費	5,348	5,429	81	1.5%	人件費増 (定年退職者、役員賞与整理変更) 運賃増
営業利益 〈利益率〉	1,245 〈6.8%〉	1,250 〈6.6%〉	5	0.4%	
経常利益 〈利益率〉	1,419 〈7.7%〉	1,350 〈7.2%〉	△69	△4.9%	
当期純利益 〈利益率〉	800 〈4.3%〉	774 〈4.1%〉	△26	△3.2%	

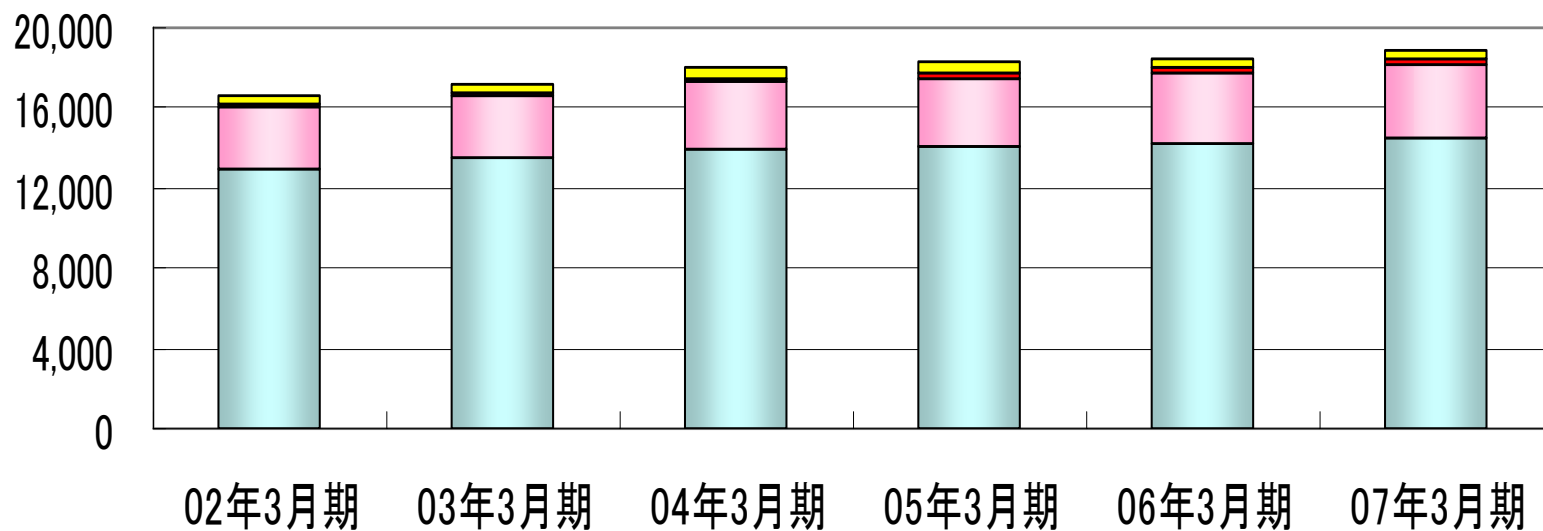
【為替】

原価計上レート¥/\$ 113円 118円

決済レート¥/\$ 110円 116円



商品別売上高 (2007年3月期)



単位:百万円

■ごま油 ■食品ごま ■脱脂ごま ■商品



	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期
ごま油	13,018	13,491	13,986	14,126	14,169	14,492
食品ごま	3,035	3,098	3,326	3,384	3,618	3,736
脱脂ごま	101	122	172	232	248	272
商品	499	533	531	507	458	359
合計	16,654	17,245	18,015	18,249	18,493	18,859



貸借対照表の主な増減要因

(単位:百万円)	06/3月期	構成比 (%)	07/3月期	構成比 (%)	前期比		増減要因
					増減金額	増減率	
資 産							
■流動資産	10,932	58.3	11,718	60.5	786	7.2%	現金・預金、 売掛金増
■固定資産	7,809	41.7	7,646	39.5	△163	△2.1%	
資 産 合 計	18,741	100.0	19,364	100.0	623	3.3%	
負 債							
■流動負債	3,870	20.6	4,139	21.4	269	6.9%	買掛金増
■固定負債	611	3.3	589	3.0	△22	△3.4%	
負 債 合 計	4,481	24.0	4,728	24.4	247	5.5%	
純 資 産 合 計	14,260	76.1	14,636	75.6	376	2.6%	
負債・純資産合計	18,741	100.0	19,364	100.0	623	3.3%	



3. 2008年3月期事業計画



2008年3月期事業計画

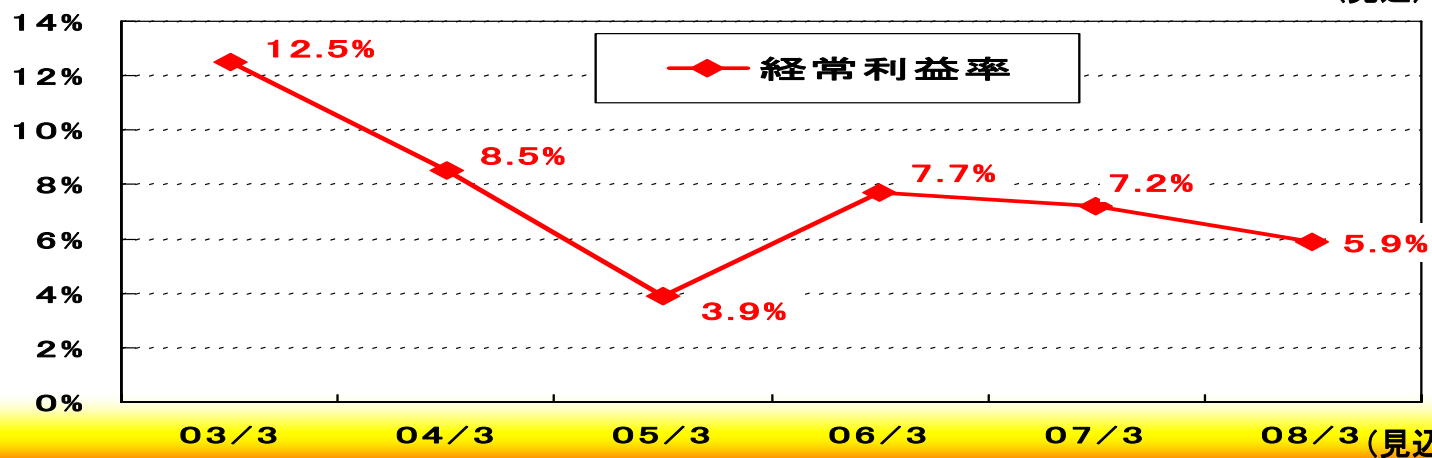
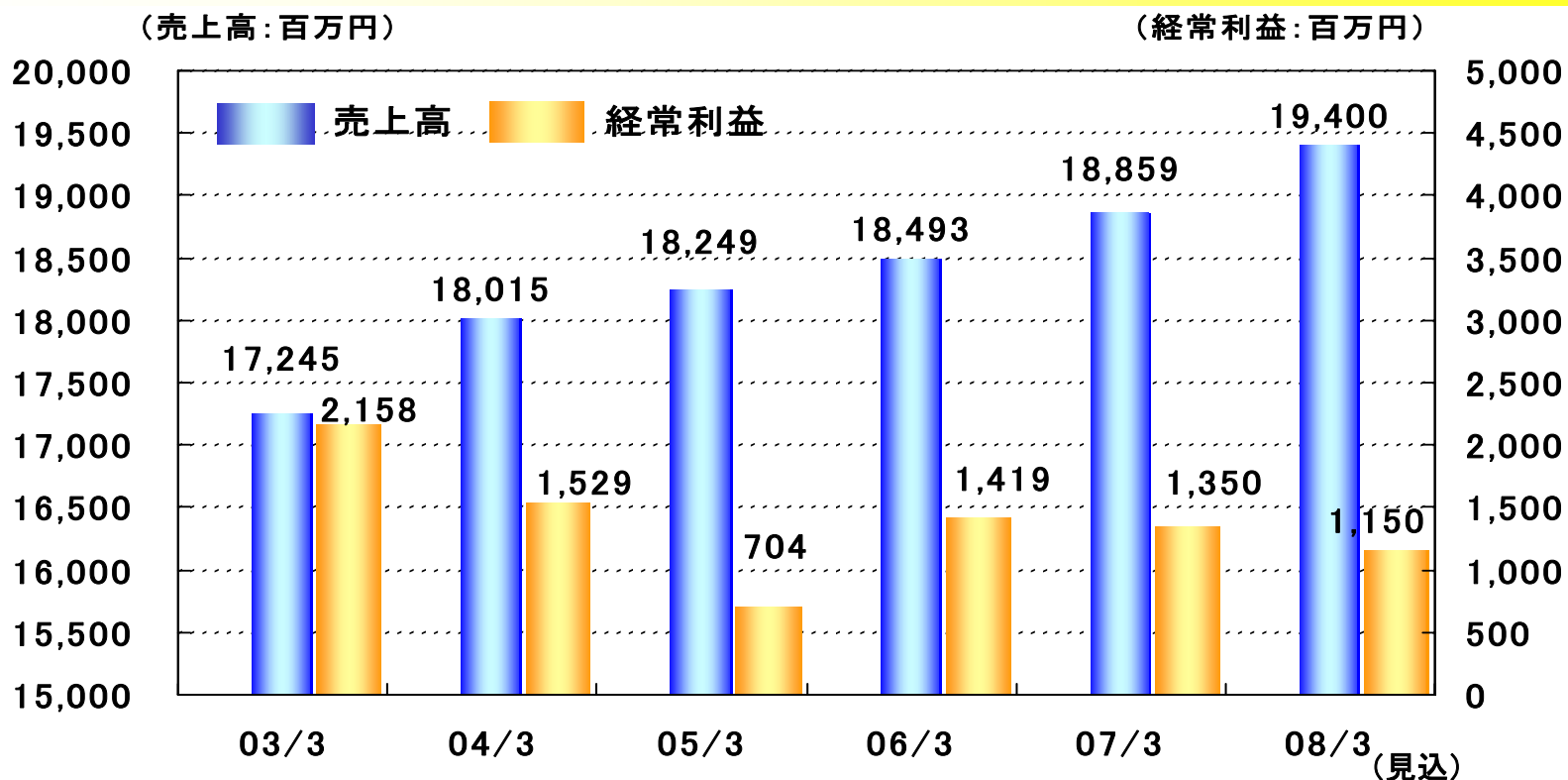
(単位：百万円)	07/3月期 実績	08/3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	18,859	19,400	541	2.9%	販売数量は前期並 値上げにより単価上昇
営業利益 〈利益率〉	1,250 〈6.6%〉	1,150 〈5.9%〉	△100	△8.0%	原料価格の上昇 設備修理費・減価償却費増 拡売条件費減 (家庭用ごま油売値改善) 販売促進費増(市況対策)
経常利益 〈利益率〉	1,350 〈7.2%〉	1,150 〈5.9%〉	△200	△14.8%	
当期純利益 〈利益率〉	774 〈4.1%〉	650 〈3.4%〉	△124	△16.1%	

通期想定為替レート¥/\$ 116円(実績) 117円(想定)

為替レート1円変動による損益への影響額 約40百万円/年



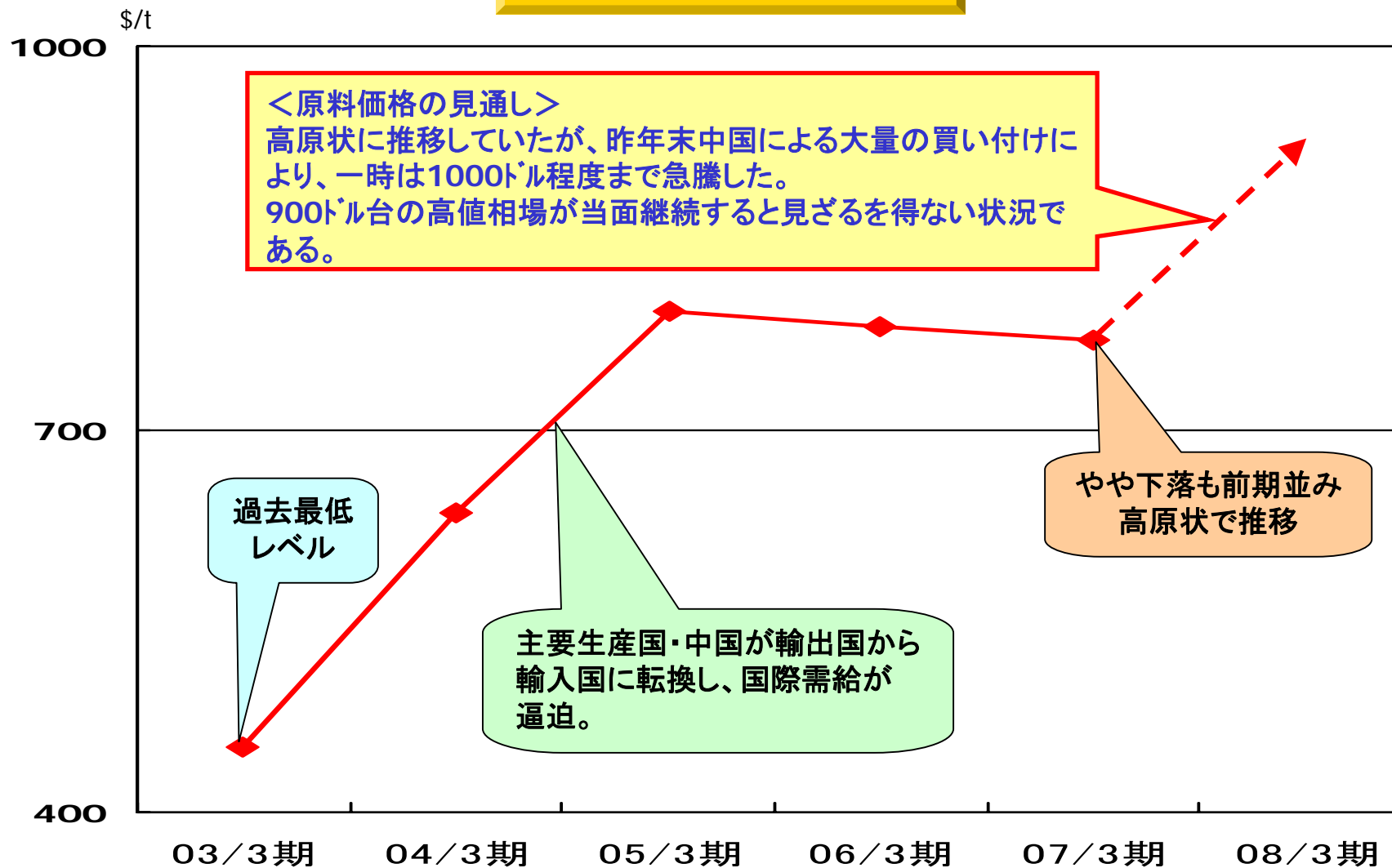
08年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移





原料価格の動向

原料価格推移(搾油用)





2007年4月 製品値上げの状況

高原状に推移していた搾油用の原料価格が、昨年末中国による大量の買い付けにより一時はトン当たり1000ドル程度まで急騰した。

円安に加え、原油価格上昇による工場の燃料やビン・缶など資材価格の上昇もあり、4月から業務用ごま油斗缶当たり500円の値上げ、家庭用ごま油の拡売費削減に取り組んだ。

市場の抵抗があるが、一昨年のような一人旅ではない。
また、今回は大豆・なたね等の他の食用油メーカーも原料高による値上げを打ち出しており、当社も滑り出しは悪くない。

但し、低価格販売によるシェア獲得に動く競合他社がないわけではない。

8~9月頃、原料・製品価格動向を確認し、次の手を考える。

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かじや製油株式会社

2007年3月期決算説明会

経営展望について

2007年5月25日(金)

代表取締役社長 小澤二郎



1. 2007年3月期概況
2. 2008年3月期通期及び今後の展望
 - ▶ 売上拡大策
 - ▶ 中期展望
 - ▶ 神戸物件
 - ▶ 目標とする指標(配当性向)



1. 2007年3月期概況



2007年3月期概況

- ◆販売数量増による売上増
- ◆燃料費他経費増、為替円安で、
売上原価増
- ◆販促費増(販売数量挽回)



2. 2008年3月期通期及び今後の展望

- ▶ 売上拡大策
- ▶ 中期展望
- ▶ 神戸物件
- ▶ 目標とする指標(配当性向)



売上拡大策(ごま油)

ごま油

◆ 新製品

純正黒ごま油150g

厳選した良質の黒ごまを、当社独自の製法で製品化。
当初取引先限定で販売したが、一般にも販売開始した。
市場の評判は良く、順調に伸びている。

黒ごま辣油45g

辣油45gのアップグレード品として、黒ごま油をベースに、
辛味成分を現行辣油の2倍にアップし、中華・韓国料理に
こだわりを持つユーザーに販売。
黒ごま油の市場拡大も期待できる。
※今年の夏頃、販売開始予定。



(写真はイメージ)



売上拡大策(食品ごま)

食品ごま

【家庭用】

- ◆ 利益率が高い「いりごま・すりごま」の小袋タイプを拡販。
- ◆ しっとり感のあるすりごまを、下期に販売予定。



【業務用】

- ◆ 利益率が高い「ねりごま」を拡販。
- ◆ 坦々麺や麻婆豆腐用の粗挽きねりごまや、激辛ラー油が好評。引き続き拡販。





売上拡大策(ポジティブリスト制度対応)

ポジティブリスト制度

- 農薬の残留成分が一定以上含まれる食品の出荷・流通を原則禁止する制度
- 昨年5月から導入された。

競争より先へ



規制の対象となる農薬等は799品目。全ての農薬検査に対応できる公的機関は未だなく、食品会社にとっては大問題。

当社は、原料の残留農薬の安全性に対し、逸早く取り組み、現在も分析・検査体制および設備の増強に取り組んでいる。更に、公的機関にも可能な限り詳細な検査を依頼している。

その結果、ごま業界の競争他社に比べて一步先んじていると考える。

差別化による売上拡大へ

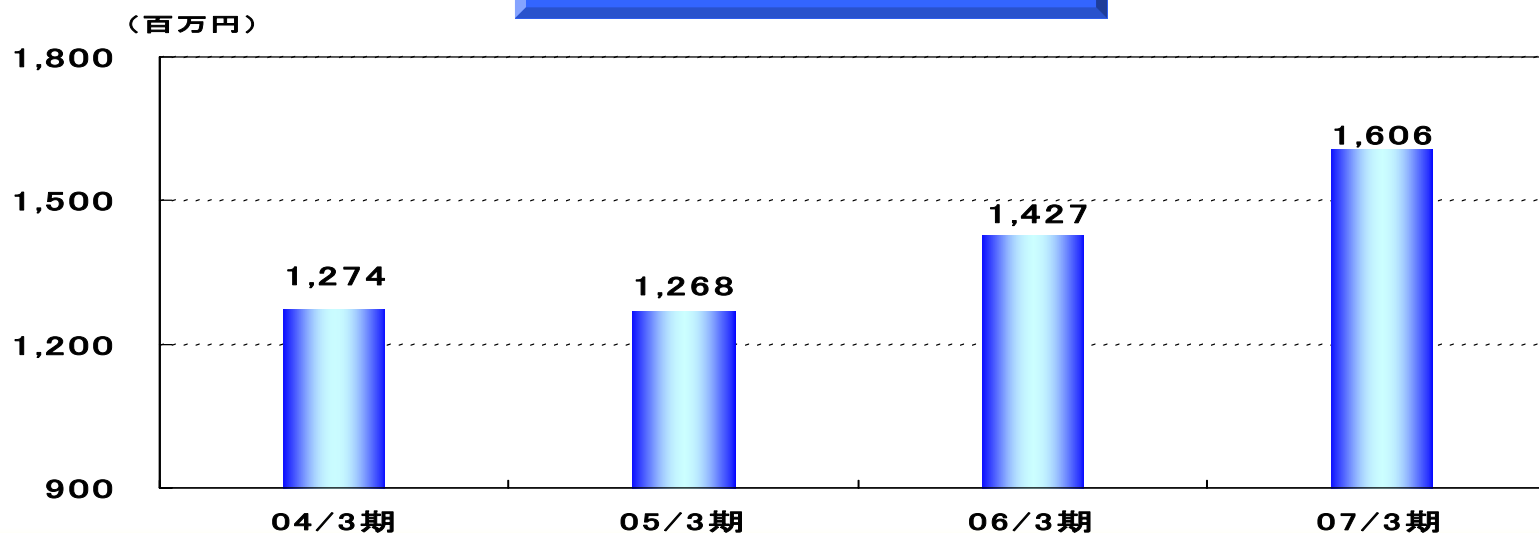


中期展望①

ごま油

- ◆ 人口減・少子高齢化が見込まれている国内でのシェア獲得競争に自ら踏み出すつもりはない。
- ◆ 日・中・韓国人系の方々による需要増が見込まれる輸出に注力する。
※重点地域：北米(アメリカ、カナダ)、オーストラリア、ニュージーランド、香港、ヨーロッパ

ごま油輸出用売上高推移





中期展望②

食品ごま、ねりごま

- ◆用途が広がっているが、当社シェアは高くない。発展開拓の余地は十分にあることから、積極的に取り組む。
- ◆場合によっては、タイムセイビングの見地から、他社との業務提携や、M&Aも選択肢の一つとして考える。



神戸物件

昨年、物流コストの削減を目的に、大阪・名古屋・広島地区の物流センターとして、「神戸事業所」を稼動開始。



検討委員会を設置し、用途・投資効率等、将来の第二工場建設のための精査を開始した。



現段階では、ごま油生産充填工場が有力である。



引き続き精査すると共に、販売が順調に推移すると、小豆島工場の生産能力はいずれ限界を迎えるので、建設着手のタイミングを見計らう。



配当性向

- ◆ 2007年3月期より、業績に連動させた配当に変更。
 - ◆ 配当性向の目標は、当期純利益の40%を目処。
-
- ◆ 上記配当政策に基づき、2007年3月期の期末配当金は、1株当たり35円の予定。
※従来予想は30円であったが、業績の改善により、5円を加え、35円とさせていただいた。



※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

取締役専務執行役員 水戸 優

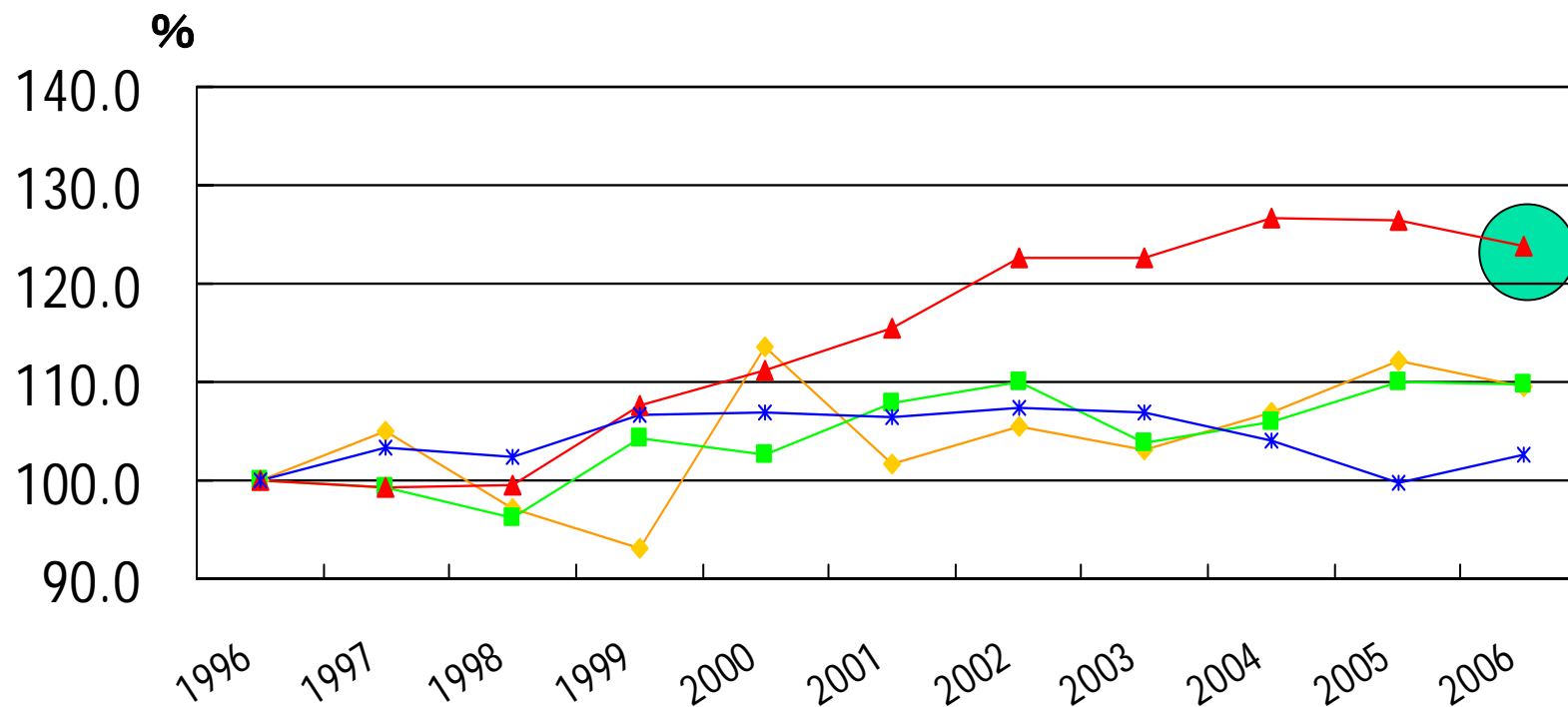
URL: <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料



わが国のごま種子輸入量と搾油状況

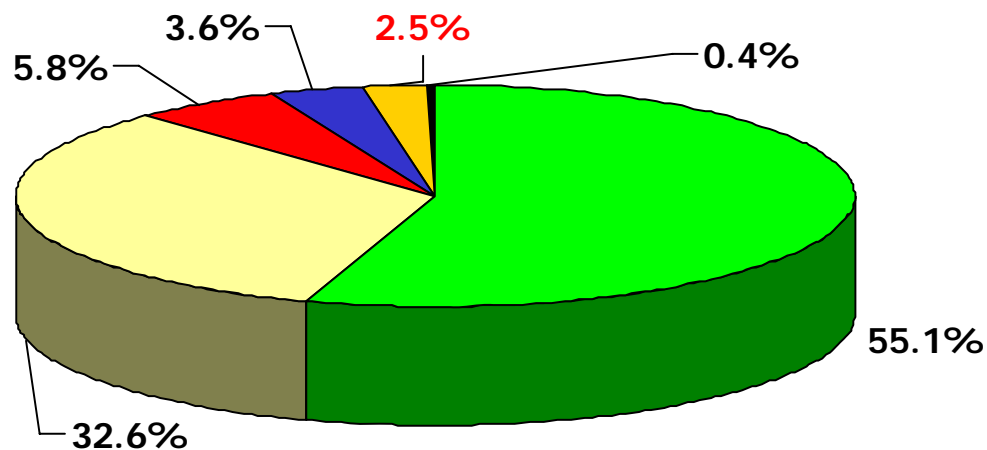


	(1996年)	(2006年)	(伸び率)	(単位:トン)
◆ 全国ごま種子輸入量	145,108	159,110	109.6%	
■ 全国ごま油生産量	39,586	43,426	109.7%	
▲ 当社ごま油生産量	19,887	24,606	123.7%	
✱ 全国可食油生産量	1,718,779	1,762,925	102.6%	

資料: 財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」



わが国の油糧(可食油)生産量実績



2006年生産量

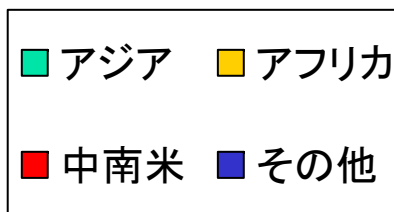
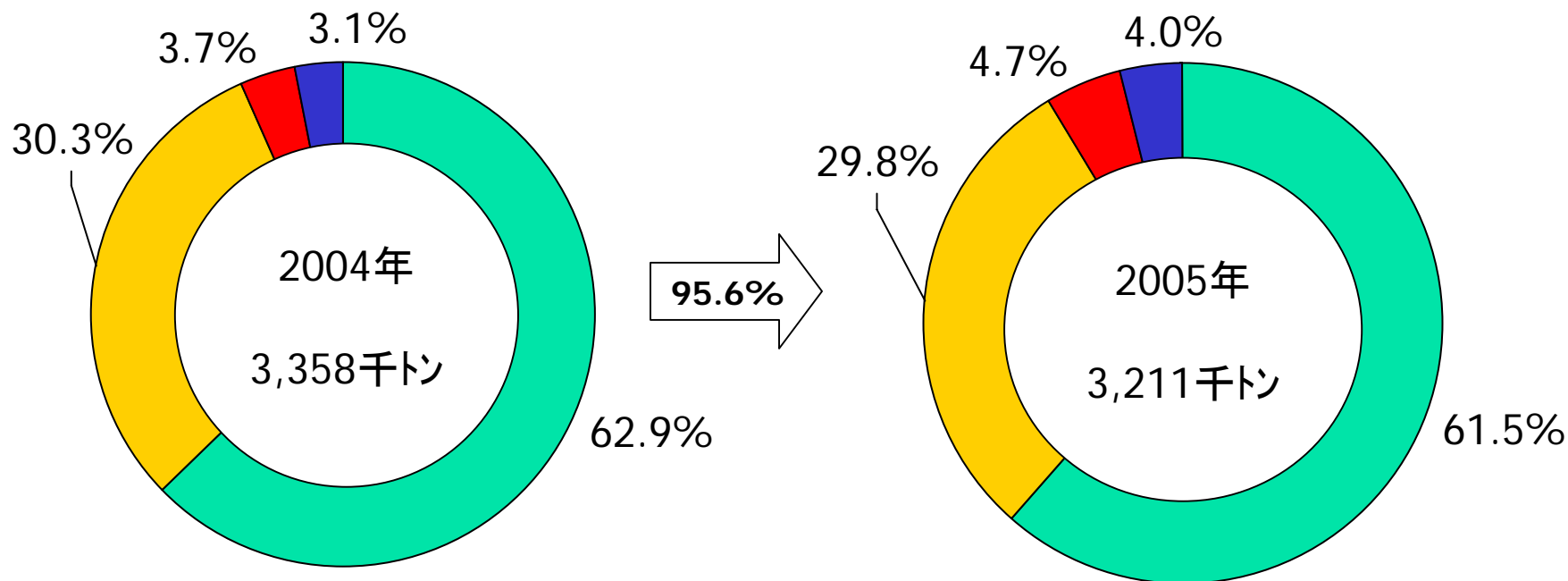
1,762,925トン

	1996年 (数量:トン)	2006年 (数量:トン)	増 減	
			(数量:トン)	(比 率)
■ 菜種	816,001	971,901	155,900	19.1 %
■ 大豆	673,432	575,739	△97,693	△14.5 %
■ とうもろこし	99,481	101,734	2,253	2.3 %
■ 米ぬか	61,757	63,319	1,562	2.5 %
■ ごま	39,586	43,426	3,840	9.7 %
■ 紅花	21,100	-	△21,100	- %
■ その他	7,422	6,806	△616	△8.3 %
	1,718,779	1,762,925	44,146	2.6 %

資料：農林水産省作成
「油糧生産実績表」



世界のごま種子生産量



資料: FAO Inter-net data base

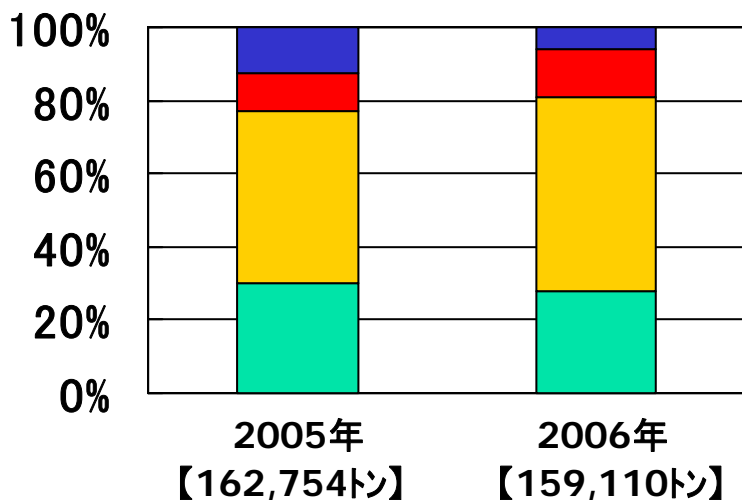
(主な生産国)

単位: 千トン	2004年	2005年	増 減
インド	680	680	0
中国	704	625	△79
ミャンマー	555	510	△45
スーダン	399	277	△122

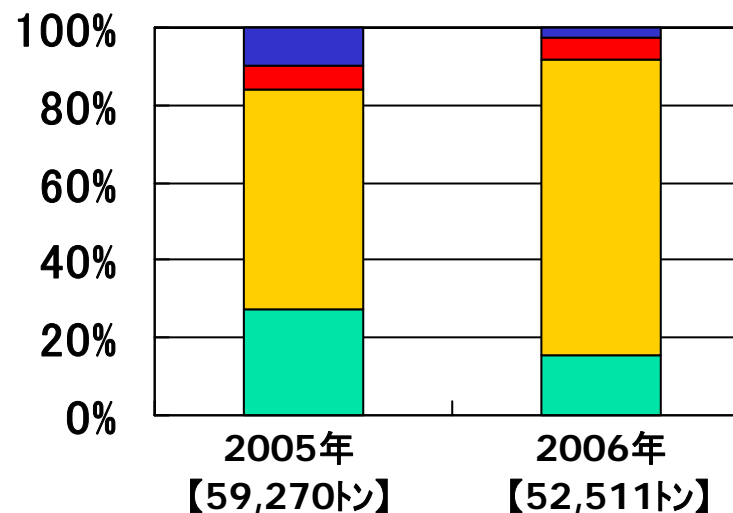


わが国のごま種子輸入実績

全国



当社



■ 中国	12.5%	6.0%
■ 東南アジア	10.4%	12.9%
	(ミャンマー・パキスタン他)	(ミャンマー・トルコ他)
■ アフリカ	46.8%	53.3%
	(ナイジェリア・タンザニア他)	(ナイジェリア・タンザニア他)
■ 中南米	30.3%	27.8%
	(パラグアイ・ボリビア他)	(パラグアイ・ボリビア他)

資料：財務省通関統計